

平成22年度 第4回地域包括支援センター専門委員会 会議要旨

1 開催日時

平成23年2月2日(水) 18:30~20:00

2 開催場所

北九州市役所 91会議室

3 出席者等

(1) 委員

中村委員長、小川副委員長、河原委員、白木委員、橋元委員、舟谷委員、渡邊委員
欠席者 今村委員、井手委員、

(2) 事務局

いのちをつなぐネットワーク推進課長、介護保険課長、健康推進課長ほか

4 会議内容

(1) 議題

ア 地域包括支援センターの課題解決に向けての検討

5 議事の概要

(1) 議題

ア 地域包括支援センターの課題解決に向けての検討

地域包括支援センターにおける現在の課題等を踏まえ、課題解決に向けた今後の地域包括支援センターのあり方について、12月の質の向上委員会において、地域包括支援センター専門委員会としての意見を報告したが各委員から異論が出たため、再度専門委員会としての意見を統一するため、意見交換を行った。

【発言趣旨】

事務局：課題解決に向けた今後のあり方については、当専門委員会と質の向上委員会での意見を踏まえると、市民に身近な相談窓口の体制を維持しつつ、地域包括支援センターの数や人員を集約する案が出ている。案への意見を伺いたい。

委員：不便な所にある地域包括支援センターもあり、市民に案内しにくい所がある。集約した場所が区役所だと案内しやすいのではないかと。また、事業所としても、各種事務手続きが区役所1箇所だと手間がかからなくてよい。

委員：人員が1箇所だけに集まるのはいかがなものか。八幡西区・小倉南区などは広いので2箇所に分けるなど、地域性なども考慮して欲しい。また、現在はその地域での関係性ができているので、変更する際は地域への周知徹底をして欲しい。

事務局：地域が広いところについては、区役所からの訪問時間等も考慮して、相談にいける体制等を検討したい。

委員：民生委員など地域の方に窓口については地域包括支援センターに、それ以外については統括支援センターにするなど、窓口の機能整理をすれば変更案が生きてくるのではないかと。

- 委員：全ての区を一緒に変更しなくてもよいのではないかと。地域性をみながら柔軟に対応すればよいのではないかと。
- 委員：統括支援センターに人員を集約するのであれば、司令塔である統括支援センターの決定権や権限を明確にし、適切な人材を配置すべきである。
- 委員：複数名体制になればチームアプローチができやすくなるということだが、指導力・人材が重要である。そのためには職員に対する教育システムも構築していかないとたまたまならない。住民支援がよくなることを目標に、連携する上でネットワークよく動くことを考えてほしい。
- 委員：高齢者になんでも区役所に行かせるのはいかがなものか。
- 事務局：相談件数や利用状況をみながら、体制は柔軟に考えていきたい。